

K

二八

受信一八二五〇〇

了一九二五

電〇三七二九

災病◎

● 三三根 P

● 三南遺囑除尸・醫務局

● 魚雷九八三

機密第〇八〇八四五番電

應急治療品特ニ裝創材料ノ手持僅小ニシテ現地調達又不能ニ就キ標的魚雷輸送便ニテ御送付ヲ得度。

通四二四五 呂一Bラ一八(九一四五K) 高二放 大晦原(錦軍ソ)

電信十部

95

二八 受信一一三五 譯了一二四五 電〇三六一五 作 概

作

南作戰部隊 (南號) ・海 部 隊
大 海 參 一 部

機密第〇八〇九四八番電

發 聯合艦隊司令長官

困難ナル狀況ヲ克服シヒ八八▲船團ノ護衛並ニ運航ノ任務ヲ達成シタ
ル關係各部隊ノ勞苦ヲ多トシ現ニ實施シツツアル昭南方面ヨリノ輸送
作戰ハ同次ヲ重ネ時ノ經ツニ從ヒ益困難ノ度ヲ加フベキヲ以ツテ關係
各部隊ハ今後一層ノ努力ヲ致シ任務達成ニ邁進センコトヲ望ム

通四〇八一 天二Bケ三(B) 聯合艦隊

中村 (渡海)

0. 2. 9a

二八
至急

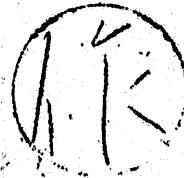
受信一四四〇
譯始一六一五

譯了一七一五

電〇三六九一

整作

共符



東京通信隊
横通・吳通・佐通

機密第〇八一〇〇番電

發 第六艦隊參謀長

宛 海軍務局長 吳經理部 艦政本部 總務部長 大海參二部長
海軍艦氷艦部長 横須賀 吳佐世保工廠長

伊號第四七潜水艦（舊丙型）の主タンク・キングダストン并經ナル爲同型
艦ニ比シ急速潜入秒時約七秒大ニシテ至急對策施行ノ要アル處同型三月
初旬迄整備豫定ニ付此ノ機會ニ右實現方然ルベク御取計相成度。

通四一八六 出Bヶ四（B）吳 小野（岩崎）

20. 2. 9.

↑

9

二八 緊急
受信一四三八
譯始一四五〇

譯了一五四〇 電〇三六七九 作概



- 三二根戦闘概報着信艦所
- 二二、二三、二六各根

機密第〇八一四二番電

三二五B 戦闘概報 第三三號 (二月七日)

一、ダバオ方面〇八四〇ヨリ〇九一〇迄 Pト三八 三機南西方ヨリ來襲

ラサン飛行場爆撃滑走路附近被弾一被害重傷一輕傷二滑走路本日

中ニ復舊ノ見込ミ一五一〇ヨリ一七〇〇迄 Pト三八 二機第二飛

行場滑走路附近投弾戦果被害ナシ

ニサランガニ 二月七日一〇〇〇ヨリ一六二〇迄通過機Pト三八

三機Bト二四 一機Bト二五 一機Bト二六 三機

三、カガヤン方面一〇三〇Pト四〇一 三機北進

通 一六九 呂一〇ラトハ一五七一〇迄 二機 〇位 (四田)

20. 2. 9

二八
訓受信一四五五
譯了二六五〇
電〇三六九三

急
鹿屋航空基地

航作
概本〇



● 大本營海軍部・聯合艦隊口
● 大海參一部・第一機動基地航空部隊・横濱空基地
● 航本總務部・第一空襲部隊（六基地航空部隊）

機密第〇八一五二番電

發 第一航空戰隊司令官

聯合艦隊電令第六二八號ニ依ル第十一航空戰隊第二十五航空戰隊聯合綜
合訓練（自二月十五日 至二月十八日）ニ際シテハ通信（航空・基地）
基地防衛、被害局限及被空襲下ニ於ケル飛行機發進攻撃法等訓練ノ豫定
ニ付委員ノ派遣ニ關シ然ルベク取計ヲ得度
尙委員ハ十三日中ニ當基地參着事前打合セ終了後各基地ニ配備シ得ル如
ク手配ヲ得度

四一七七 呂一B（七六〇五〇）
澤（吉）

20. 2. 9

急

二八
受信機三三三二二
開始三三三〇〇
丁二三三二五
電〇三九〇六
作機〇



支那方面艦隊口

海上警備隊口、門町在勤武官所(電信所)

機密第〇八〇二二〇番

發宛 參謀長

通報 第一護衛艦隊門町司令所

支那方面艦隊機密第〇七一一三二番

警備隊船團運航指揮官不足ノ爲海防隊司令若ハ先任護衛艦長ヲ艦隊指揮官ニシテ居ル現狀ニシテ重要望ニ應ジ難キ 尙上海南支間輸送ハ接岸航行ニシテ飛行機ノ協力モ期待シ得ルヲ以テ右御了承アリ度。

通四三四九 呂一〇ヶ四(四七〇五五)高雄

栗田(松井)

20. 2. 9

至

停

一八 受信一七四七 譯了二一一〇 電〇〇三七六〇
譯始二〇二〇 〇三八〇二 航作本 〇

急

厚木空基地

第二鈴鹿、笠ノ原、鹿屋谷空基地・一〇八一空襲ヲ浦派遺隊

聯合艦隊司令部・小崗山司令部・臺中空基地

機密第〇八一三〇七番電 二分ノ下ニ

一 U P B 電令作第一四號

爾今戰國機空中輸送ノ際ハ誘導並ニ空輸員復歸促進ノ爲左ニ依リ誘導機ヲ附スルヲ例トス

一 區間自九州至臺灣

二 派出所轄第三空挺隊要スレバ特令シテ第一第二空挺隊ニ協力セシム

三 機種 敵一式陸上輸送機(陸攻)トシ戰國機十機ニ對シ一機ノ誘トス

四 空輸機隊及誘導機ノ出發基地ハ特令ヲケレバ夫々笠原、鹿屋上シニ五

五 航空戰隊司令部ノ區處ヲ承ケ實施ス

定空輸完了セバ誘導機ハ直ニ空輸員ヲ返送シテ三空挺隊所定ニ候ル

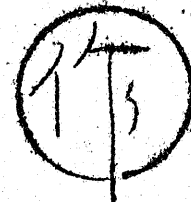
四二五〇 四二七二 呂一Bケ四(B) 概通 終生(川口)

緊急

二八 受信二三三七 譯始〇〇四〇 譯了〇一三六 電〇三八七〇 作 概〇

● 海上護衛總口

● 九〇一空 ▶



● 第一護衛艦隊口 九五一空 南支飛行隊 九〇一空
九〇一空三亞 派遣隊 △

機密第〇八一四四一番電

宛 GEB 參謀長

九五一空香港派遣

戰團機隊ノ原隊ヨリ機材ノ補充困難ナラバ在香港
機材及戰團機一ヲ當隊ニ供給替ノ上原隊ニ復歸ノ專ニ取計ハレ度追

テ當隊戰團機隊約半兵力ヲ急遽練成ノ上同道ニ送出セシムル豫定ナ

リ。

通四四二七 呂一Bケ區(四七〇五IC) 高津 三浦(森田)

20. 2. 9

人 手

緊急

二八

受話二三二一
話外二三四五

九

了〇一一五

電〇三八五三

作

三 八 一 空

西部空襲部隊戦闘概報着信艦所

二一通・二二根

機密第〇八一五三二番電

第二十三航空戦隊司令官 第二南遣司令部司令官

第三八一航空隊戦闘概報（二月八日）

一二二〇一一二五〇迄B一二四約五〇機 數編隊ニ分レ來襲兩飛行

場ニ投彈零戦四機ヲ以テ邀撃

一戰果撃破二機

三被害

（一）第一飛行場大型燃彈滑走路附近二三〇發命中着陸場周圍使用不能

通四四二〇 四一Bヲ十八（六二三五）

二飛行場 滑走路二弾命中使用ニ差支ナシ

(二) 家屋數棟中小破

(三) 着陸時零戦一機折損ノ他人員兵器異狀ナシ

二九
受信開始 〇〇八七四〇〇

譯了 〇九二〇 電 〇三九九八

航作概本 〇

六三警備隊



聯合艦隊 四艦隊
マーシャル方面防備部隊

機密第 〇八一六一番電

PMB 戦闘概報 (二月八日)

一 哨戒機 〇七〇八 一二一 夫々 F 四 U 離島銃撃

二 偵察機 〇八〇〇 P B 一機

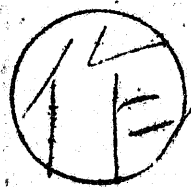
三 昨七日哨戒機二機「アイリツグ」島銃撃戦死一 (下士官) 輕傷二 (下士官兵各一名)

進四五一八 呂一Bラ三 (一七六三〇K) 四通 村尾 (林部)

20. 2. 9

二九 緊急

受信開始 一三二五 一四三〇 〇九一 航作 本〇



五基地航空部隊戦報着信艦所
三〇 特根

機密符 〇八一七〇〇番

八日戦闘概報

一〇九三〇一〇一五 PBY 一機 二九三度 P 四〇一 七機 二二三

〇度ヨリ來襲マツブ島タカレン水道投砲各所銃撃後共ニ二三〇度方

向ニ去ル其ノ他基地飛翔ダグラス西行五機東行一機七日二二五〇本日

〇二〇〇南方ヨリ東方ヘ大型機ノ爆音聴取ス

ニ戦果被害ナシ。

通四六三一 呂二ブラ十四 (一五七一〇K) 三通 西野 (松山)

20. 2. 10

人
人

二八 話受一九〇〇

電〇三七三一

航作
機本〇



第三航空艦隊 關東空

第一〇一航戦・横 鎮

機密電話第〇八一七一六番電

通報 人事局長 航本總務部長 空技廠長

G F 電令第六三〇號

第三航空艦隊司令長官ハ關東空ヲシテ航本機密第〇五一四三六番電ニ
依ル花整備講習員ヲ派遣セシムベシ。

油 三〇〇

B

高津・

20. 2. 9



至 二 九 急

受信一三三〇五

丁一四〇七

電〇四〇七三

作 嶽

四十六警備隊

三〇根戦闘機報告信監所

機密第〇八一八五〇番電

四六警戦闘機報第三八號八日一〇〇〇F四UI一PBYI一八機
來襲「タガレン」水道銃爆撃戦果ナシ被害(タガレン)橋(トミフ
レ島トヤツブ島本島間幹線唯一ノ陸橋)

通路上

通四六一八

呂一Bラ十四

(一五七一〇RC)

三通

安田(杉本)

20 2. 10

人

二九 受信一三一三 詳始一四一四 譯了一四五海 電〇四〇八〇 航作概本〇

緊急

● パラオ第一空基地

● 五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

● 三〇根

192

機密第〇八一九〇一番電

戦闘概報二月八日

一昨夜モ夜戦延一一機來襲被害ナシ

二〇六〇〇一八〇〇F四U一一延三二機來襲海岸線銃撃數同位偵

察セリ

三視界内通過機數小型機延二三機大型機延一三機

四戦果被害ナシ。

通四六二九 呂二Bラ十四一五七一〇K〇)三通

相澤(山中)

20. 2. 10



人

緊急

受信 〇五二二
譯始 〇五四〇

譯了 〇六三五

電 〇〇三九九〇二一

航作 本〇

一護衛艦隊口

支那方面艦隊口



海護總口。警備隊。九三一空（佐伯空）。九三一空（新竹空）。一〇二戰
門司在勤武官

機密第〇八一九四五番電

二分ノ一二

宛發 參謀長
A報 一作 戰ノ根 爲九五一空（龍華）九五一空（シウ山島）一門司司令所
定左ノ件配慮ヲ得度

一、燃料八七地、一三萬立潤滑油五千立、爆彈二五番二號三〇六番五號六〇

二、基地員一〇〇名、電信五〇名

三、基地ノ警戒。

通 四四五八

天二Bケ三（四七〇四五）高

小野 小森（岩崎）

20. 2. 9

天

人

二九
緊急

受信開始
〇五五〇

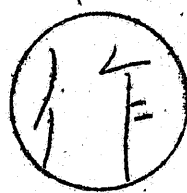
了〇六三〇

電〇三九〇五八〇

作機本〇

一護衛隊

一護衛隊 (門司在勤武官)



海上護衛隊 (九三一航空隊)
九三一航空隊 (龍華空基地)
九三一航空隊 (佐伯空基地)
九三一航空隊 (龍華空基地)
九三一航空隊 (佐伯空基地)

機密第〇八一九四七番電 二分ノ一、二

宛發參謀

▲自一作戰ノ門山島定海基地狀況

一、滑走路向風ニ對シ一二〇〇米一〇〇米一本機攻離着陸可能收容能力

一〇機程度

二、滑走台アリ附近潮流強ク水上機ノ艦艇揚收ハ相當熟練者ニアキザレ

ハ因難ナリ

四五〇千 天二五ヶ三 (四〇四五K) 高 海 菅原。半澤 (五島) (一四五〇)

20. 2. 9th

三、夜殿ナク附近山嶽多シ月明ニアラザレバ夜間飛行不能

四、依願中ナルモ然無ノ遺憾ニ不安アリ

五、治安不度警備隊兵力不足ニテ相當ノ警戒ヲ要ス

六、宿泊可能員數約七〇名

七、通信力ニ餘力ナキモノト認ム

二九 受信一七五〇〇 譯了—八二〇 電〇〇四一六四 航作概〇



支那方面艦隊口

揚子江方面根

總長・南京警備隊・上海根、海南警口

機密第〇八一九五四番電 二分ノ一、二

受報者 上海在勤武官 南京在勤武官 漢口在勤武官

揚子江方面特別根據地隊戰鬪概報第十一號(二月七日)

一四〇〇P五一 三機セキカイ地區來襲所在部隊直ニ應戰此ヲ擊

退ス 戰死工員 一 重傷兵員 二 工員 二 白山丸船長

輕傷下士官兵一名 工員一名 船体被害ナシ

三一四一四P五一 四機九江ニ來襲勢多 堅田 二見及九警ハ直ニ

攻撃之ヲ擊退セリ。

道四六九五、四六七二 六一B (一四九三〇KG) 上海 原野、山内(雨谷)

20. 2. 10

二
九八

受信二二〇一
譯始〇四〇九

譯了〇四五五 電〇三八九七

航作
本概〇



佐 鎮

● 大海參一部・二五航空戰隊卜・鹿兒島空・二二戰隊卜

機密第〇八二〇一八番電

發 聯合艦隊參謀長

第二十二戰隊監視艇一隊（約四五）ヲ鹿兒島方面ニ派遣同地ヲ基地
トシテ九州南東洋上ノ哨戒（對機動部隊及B-I二九等）ニ從事セシ
メラルル豫定ニ付鹿兒島航空隊ヲ同監視艇隊基地トシテ使用ノ件竝
ニ同監視艇隊ニ對スル補給整備等ニ關シ便宜供與アリ度
追 詳細ニ關シテハ監視艇隊司令ヲシテ打合ヲ實施セシメラル。

通四三八七 呂一Bケ四（B）（G）P 深澤（林）

2.9

二九

受信開始 〇八五三九

譯了 〇九四七 電

〇〇四四
〇〇〇六
二一七六

航作概本 〇

至急

龍華航空基地

作

九三一空 (佐伯航空隊)

海上護衛總口・一〇二戰隊・一護衛艦隊口・支那方面艦隊口
舟山島警備隊・九五一空・上根・舟山島航空基地

機密第 〇八二〇三六番電 三分ノ一、二、三

發 九五一空上海派遣隊長

九三一空機密第 〇四一二一六番電關聯

六舟山定海基地ハ水陸兩用ニシテ現在九五一空舟山島派遣隊

二現員約一二〇名ノ使用ヲ使用中

六陸上基地ノ現狀滑走路南北一本(長サ一二〇〇米幅一〇〇米飛行

場地區鋪裝)略季節風ニ平行艦攻零戦使用セリ陸軍偵察機モ時々

使用シアリ附近ニ山ヲ以陸攻機等々使用ニハ稍困難收容可能

機救哨戒機一五機組機

通 四四四 五五五 二二二 三三三 呂宋ケ口(七五〇五 EC)上海通

(一四九三〇 EC)

入月時(川行)()

零水

20. 2. 10

三、無蓋掩體二二

四、通信、龍華基地（九五—航空隊上海派遣隊）經由

五、燃料（水上基地現有ノモノ）八七揮三二砲、九二揮二四砲 航空

鑽油二〇砲

六、水上基地滑走臺一格納庫一

七、兵舎五〇名程度收容ノ餘裕アリ

尙舟山警備隊大道派遣隊兵舎ニハ相當數ノ收容可能

八、所要ノ連絡ハ上海根據地隊司令部及第九五一空上海派遣隊ニ執ラ

レ度。

人

二九 受信開始 〇〇三三五 譯了 〇五二〇 電 〇三九一七 作 概

緊急

作

- 一 護衛艦隊 P・六八一空 (三亞航空基地) ・九三六空
- 海上護衛總口・サンジャツク集合地管理官・

機密第 〇八二一一四 番電 二分ノ二

戰國機報第二五號 (二月八日)

一 船團直衛

イ) ヒ八八〇 船團 〇八二〇ヨリ一四〇〇迄 延二機一三三〇ガソル島

ノ一七七度一 運異狀ナシ

ロ) ヒ九三船團一二五五ヨリ一九二〇迄 延二機一九二〇「ハダラン」

ノ二二〇度四七運異狀ナシ

三 對潛攻撃 〇九三〇ヨリ一二一〇迄 延四機一〇二五ダグエー岬ノ六

五度・一〇運巾五〇米長サ二〇〇〇米ノ油帶ヲ發見七日 (陸戰二機

通四四九七〇 天一Bケ四 (六二三五) 十通 菅原 (齋ひ) (一)

2053

油出状況ニ變化ナシ

三昨七日ヒ八八〇船團直衝機中二機未歸還内一機八一匹四五頃ハダラ
ル岬沖ニテ敵月二四三機ト交戦中ナルヲ船團ヨリ目撃セリ

二九 受信〇〇二一六 譯了〇六二〇 電電〇〇三三八六 一三 作

緊急



七基地航空部隊戰闘概報着信艦所

硫黃島航空基地

機密第〇八二一五六番電 三分ノ二、三三

二空襲部隊戰闘概報第一六四號 (二月八日) 其ノ二

一五四〇 一七五度二〇〇 一四〇度九五 一編隊探知零

戰二機陸軍一式戰闘機二機邀撃一六一四及一六四五 B 一四各一〇

機三四五度二〇〇度方向ヨリ侵入北東海岸及玉名山南波止場附近ニ投

彈南方ニ遁走セリ

二戰果 B 一四 一機撃墜

三被害

通四四五三 四四六〇

另 一 B (B)

六月三日

20. 2. 9

(イ) 零 戦一機体當自爆搭乗員未歸還

(ロ) 建物全壊二半壊一幕舎大破中破各二

(ハ) 其ノ外砲術科彈庫一(假稱小型手榴彈一八〇個ダイナマイト二七〇

格納) 誘爆飛行科彈庫一(機銃彈七耗七機銃約三〇〇〇〇發十三耗

機銃六〇五〇發二十耗機銃七二〇〇發格納) 埋没

四 發射彈數(一) 用平 均 保有彈數) 十二挺高角砲七五(九九)七。五サ

ンチ^野 戰高角砲六(三〇五)

五 一七〇八迄天山一機敵機墜海面ヲ搜索浮流セル油及救命浮舟ヲシキ

モノ浮救命浮袋ヲシキモノ五認メタルモ人影ハ見ズ

六 明日實動機數零戰一機陸式一式戰同機天山各二機。

人

停

作戰特別緊急

二九 受信一四〇四 譯始一四四六 譯了一五二五 電〇〇三九八七 航作本〇

九〇一航空隊 (東港航空基地)

九三六航空隊 (高雄航空基地)

南 作戰部 隊

機密 〇八二二一五番電 二分ノ一

九〇一空電令第一五號

一 三亞陸攻隊及高雄派遣隊九六式陸攻二機 (三亞進出中ノモノ) チ

以テ特別掃蕩隊ヲ編成 (指揮官仲導大尉)

二 特別掃蕩隊指揮官ハ三亞派遣隊指揮官ノ指揮ヲ受ケ三亞「ツィラ
ン」 「ナトラン」 等ヲ基地トシ主トシテ北上船團ノ前路掃蕩ヲ實

施スベシ

通四六五五

呂一Bケ四 (九一四五KG) 高二放

吉田 (蓋)

(1)

20. 2. 10

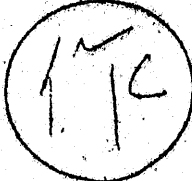
三、三項派遣隊指揮官ハ高雄ヨリ進出中ノ一式陸攻二機ヲ以テ當隊電
令第十五號ノ作戰ヲ實施スベシ

四、第九三六航空隊司令官ハ右第二項ノ作戰ニ協カスベシ。

(2)

人

緊急



受信一三四七
譯始一三一五

譯了一三三五

電〇四〇七二

參作概本〇



口夕敵情遠望着信艦所



機密第〇九〇六〇五番電

〇五三〇特設航空母艦(アラソンベイ型)一驅逐艦一 一八〇度二五
湮針路西輸送船二驅潛艇二 二〇七度三〇湮針路南。

通四六三二 登一三(一七六三〇EC)四通

渡邊(貞四)

20. 2. 10

人

二九受信 一九三七 譯了 二三三五 電〇四二五八 作 概

至急



南東方面部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇九〇七二〇番電

十四根

RN 方面部隊戦闘概報第一三〇號 (二月八日)

一 R O 〇四四三一 一六三四常時 四 U 二機宛計子機哨戒銃爆撃

〇七三七 一〇七五 二 F 四 U 四機「バアリツク」附近爆撃

被害重傷一名

一七四〇 一八二二 B 一 二五 二機二隊 一九〇〇 一 二二一〇 中型

一機爆撃並ニ吊光投彈投下 〇四三五 一〇六五九 B 一 三四 一機偵

察 〇六二〇 P B Y 一機南東進 〇八三四 一一二九 一三五三

一五四九各 B 一 三四 一機 〇九四三 B 一 二五 一機來 被害ナシ

三戦果 ナシ。

通四七九七

呂 B ラ十一 (一七六三〇) 八通 上水 (小川)

20. 2. 10

人
↑

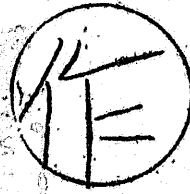
緊 急

二 九

譯 始 一 一 一 三 五

譯 了 一 二 〇 五 電 〇 四 〇 三 二

本 〇



大 海 參 一 部 ・ 佐 鎮 ・ 三 航 空 艦 隊 尸 ・ 二 五 航 戰

機 密 第 〇 九 〇 九 一 二 番 電

發 聯 合 艦 隊 參 謀 長

宛 南 西 空 司 令 沖 繩 方 面 特 別 根 據 地 隊 司 令 官

南 西 空 機 密 第 〇 八 一 〇 二 七 番 電 返

沖 繩 北 中 飛 行 場 航 空 機 秘 匿 所 へ 陸 海 軍 ヲ 通 シ 小 型 機 約 一 五 〇 大 型 機 約 三 〇 ト 了 知 ア リ 度

尙 詳 細 ニ 關 シ テ へ 第 二 十 五 航 空 戰 隊 司 令 部 ヨ リ 連 絡 ア ル 筈

通 四 五 八 三

呂 一 B ケ 四 (B) G F 口 大 石 (川 崎)

20. 2. 9

二九

受信一七五三七〇

了了一七五五

電〇四二二二

作概〇

共

符



五八號潛艇・一六長運丸・佐世保防備隊



海上護衛總口・佐世保・長白山丸・四海上護衛隊？

機密第〇九〇九二五番電

九五一空電令作第六六號

第五八號驅潛艇及第一六長運丸ハ佐世保信電令作第二二號ノ任務ニ從事

スベシ。

四七〇二

天呂ヶ三(五二〇〇K)佐世保 彌藤(阿部)

20. 2. 10

ト

二九 受信一〇三四 譯始一三四〇 譯了一五〇〇 電〇四〇五九 航〇四〇七八 作概〇 本

● 二二根



● 二二根戰國概報着信艦所
● 二八航戰P・北ボルネオ守備隊

八一七七一七

200. 2. 11

其二、三

三戰果ナシ

三被害 第一飛行場被彈滑走路 命中今明日中使用不能第二飛行場數發

命中セルモ本日修理完了

四本日敵機ハ三〇〇軒淵彈使用セリ本日ノ天候雲量一〇 雲高三〇〇敵

飛行機ハ一〇三〇頃ヨリ「マカツサル」海峡ヲ約一時間ニ亘リ船田ヲ

搜索セルモノト思考ス。一電信課註 本電其ノ一未着

通四五七三
四五七五

協作 協甲四、亂三二(一八三六七、并KO)二十一通

四月 (厚羽)

人

二九 受信一四三〇〇 譯了^五一三〇 電〇四一一五 作 概
至 急 譯始一四一一〇〇 〇〇四一一五

作

七基地航空部隊戰闘概報着信艦所

硫黃島航空基地

機密第〇九一〇一一番電 二分ノ二

日空襲部隊戰闘概報第一六五號(二月九日)其ノ一

一八日一八三〇ヨリ九日〇一四〇迄敵大型各單機九回來襲第二飛行

場北地區玉名山及周邊海岸並ニ海中ニ投彈南方ニ遁走

ニ戰果ナシ

三被害人員戰死五名重輕傷三名 天山陸軍一式戰 各一機被彈 四

發(修理可能)

通四六六一七 呂一Bヶ四(B) 木更津航空基地 武藤(塩田)

(1)

20. 2. 10

(一) 機關車三 ヤンマイエン デン一 宿舍二及幕舎三大破 宿舍
 及幕舎各三中破 第二飛行場被彈七發(使用可能)
 四發射彈數(一門平均保有彈數)十二 纏高角砲一(九九)。

(2)

手



二一〇 受信一九三五〇
開始一九一五〇

譯了一九五〇 電〇四六四六

航作概本〇

至 急

鹿 兒 島 空 基 地

● 館山空基地・神ノ池空基地
● 木更津空基地・茂原空基地

機密第〇九一〇四六番電

20. 2. 11

發 七二一空司令

宛 戰團三〇五飛行隊殘留隊指揮官

通報 第三航空艦隊參謀 厚木空司令

戰團三〇五飛行隊員ハ十三日迄ニパウエマシ島基地ニ進出セヨ、
豫定ヲ報告スベシ。

通五三三三二二、一Bケ四(五二〇〇E)在無線 清水(鈴三)

人

二九 受信 一七五八 譯了 一九〇五 電〇四一八二 電〇四二二五 作 概

緊、急



第一聯合基地航空部隊戰鬥概報着信處所

小崗山司令部

機密第〇九一一五二番電 二分ノ二

一〇月四日戰鬥概報 (二月八日)

一、臺灣部隊

(イ)陸上攻撃機二機〇三五〇「クラーク」地區部隊ニ對スル物糧投下

ノ爲發進セルモ天候不良ノ爲目標發見シ得ズ引返ス

(ロ)銀河三機P121・二四・二八哨戒 P121・二四進出距離先

端時刻夫々三六〇哩一一五〇、三八〇哩一一四五敵ヲ見ズ

天候曇 視界二〇哩 P121二八發進後三〇分ニシテ連絡ナク未歸

還 臺灣南部來襲 敵機ト遭遇自爆セル算大ナリ。

通四七三三・四七四七

呂一Bラ十八(一一三四七五KC)

GFGB

口放

三橋 (小川)

20. 2. 10

三 中非部隊

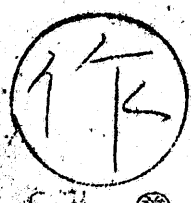
零式戦闘機二機「ミンダナオ」島「カガヤン」基地南方「タラカダ」
 方面偵察「カガヤン」南方八機ニ幅六〇米長サ一八〇〇米ノ激飛行場
 ノ發見銃爆撃滑走路ニ六番四發命中家屋一棟炎上セシム

四 「サンボアンガ」部隊基地指揮官所報

〇七一五及一五三〇P一三八 一機及三機上空制壓 戦果被害ナシ
 五 「タラーク」地區部隊指揮官所報

人

二九 受信一七一五 譯了二一二五 電〇四二三五
譯始二〇三〇 警 高 警 航作概本〇



東通・聯合艦隊口
高警第一警報着信艦所
支那方面艦隊口・二遣支艦隊下・佐鎮

機密第〇九一三〇四番電

八日敵機來襲狀況

一三〇四五〇リ
一三三八ノ間敵大型機約四機臺灣南部地區ニ飛來セルモ爲ス所ナク

南方ニ脱去セリ

一三三三〇リ〇二五六ノ間敵大型機約六機南方ヨリ臺灣南部地區ニ

侵入鳳山屏東附近ニ投彈南方ニ脱去セリ 戦果ナシ被害海軍關係ナ

シ 陸軍鳥松火藥庫(屏東北一〇軒)被爆約五時間ニ亘リ相當大ナ

ル誘爆ヲ認ム

通四七三一 呂一〇ケ四(一三七一七五)高放 司令(田中)

20. 2. 11

人

二一九 受信二一四九

電〇四三九四 作訓

至 急



海上護衛總口

大海參一部・軍務局・聯合艦隊口・支那方面艦隊口

機密第〇九一四五二番電

發 GEB 參謀長

最近護衛艦艇ニ於ケル事故多ク本年一月以降十二件ヲ數ヘ之ヲ昨年十一月及十二月ニ於ケル各一ヶ月事故件數ニ比較スルモ約二倍ニシテ事故ノ大部ハ坐礁(洲)又ハ觸礁其ノ他ハ艦船間ノ觸衝ニ依ルモノナリ目下本邦近海ハ冬季荒天ノ時機ニシテ航海及操艦上極メテ困難ナルハ勿論ナルモ各艦艇長及幹部ハ艦艇保安ニ關シ慎重綿密ナル專前計畫ト適切ナル實施トニ依リ自然的惡條件ヲ克服スルト共ニ過誤ノ絶無ヲ期シ以テ戦力ノ十全發揮ニ盡心ナカラシメラレ度

通 一二三四〇九

天二Bケ三

(松山)

停

二
一九〇〇 受信 二二五三 詳了 〇三四五 電 〇四三四八 航作機本〇

● 九〇一 航空隊
● 九〇一 航空基地・三亞航空基地
● 南 號 作 戰 部 隊

機密第〇九一五〇〇番電

一 當隊電令第八號中第三項哨戒要領ヲ左ノ通改ム (隊名、基點、索敵方向、進出距離、測定、哨戒線呼稱名)

(イ) 第一配備 (電令第八號所定哨戒要領)

(ロ) 第二配備

(一) 東港又ハ高雄・三亞二二六度五〇〇哩左折八〇哩一三番

(二) 三亞・五番

(三) 第三配備ハ特令

(1)

通四八九九 呂一Bヲ一八(四五七二、五五〇) 高放 富田(塩田)

(三) 實動機數不足ノ場合ハ指揮官所定ニ依リ機宜機種ヲ變更進出距離
 ヲ短縮實施ノコトニ定ム
 三二月十日以後夜間日施噴戒第二配備トナセ。

計機
 部
 ○本

(2)

人

二九、受信二〇五五、譯了二三三〇、電〇四二六九、諫通

至、急、高雄通信隊

第一航空艦隊、第一護衛艦隊各口、佐世保、大和田、第一、第二、第三、第四、第一聯合基地航空部隊各口、海南、高雄各警備府、軍令部特務班、第二遣支艦隊口、沖繩根

機密第〇九一五四〇番電

八日比島敵機動靜

一、哨戒機系二八、(六)

二、天偵察機系二三基八四、(九)

夜間臺灣南部來襲機ハ「三H〇維」ノ三機一隊、該機ノ爆撃報告ヲ更ニ攻撃機ニ於テ比島所在攻撃機群指揮官ヨリリンガエン所在

通四八二七、呂一〇・ラー八(四五七二五)片山(太田)

20. 2. 11

攻撃機群主要指揮官宛電ヒルハ注目ノ要アリ

三 攻撃機系二〇 口

警備機八 六隊

V八〇〇臺系飛行機ノ出系アリ。